

糸魚川市における大火災からの 復興とまちづくり支援の概要

——— 街に、ルネッサンス ———



UR都市機構

1 糸魚川市の概要

- 糸魚川市は日本海に面した森林、鉱物、水資源に恵まれた都市
- 中心部は古くから宿場町として栄え、歴史的な建造物も多い



「地図使用承認©昭文社第56G107号」

新潟県糸魚川市

■ 面積 746.24 km²
■ 人口 約3万9千人

(2023年9月1日時点)



出典：糸魚川市HP (<https://www.city.itoigawa.lg.jp/>)



2 火災の概要

- 2016年12月、中心市街地南側の飲食店から火災が発生
- 低気圧の影響で強い南風（27.2m/s）が吹いており、海側に向かって火災が拡大

出火	2016年12月22日 10時20分頃	焼損棟数	147棟
		焼失面積	約40,000㎡
鎮火	2016年12月23日 16時30分頃	負傷者	17名
		被災者	120世帯244名



出典：糸魚川市HP (<https://www.city.itoigawa.lg.jp/hope/taika/hisai/index.html>)

3 URによる復興支援

- 国土交通省と連携し、被災直後から市にUR職員を派遣
- 市の復興まちづくり計画策定の支援を行うとともに、計画実現のための事業手法を提案

2016年12月

発災

国交省からURへの支援要請

2017年3月

市からURへ支援要請

復興まちづくりの推進に向けた覚書を交換
(UR職員派遣)

2017年8月

復興まちづくり計画策定

2018年4～6月

土地区画整理事業全5地区の換地処分



国交省との現地調査 (2017.1)



覚書調印式 (2017.3)

①復興まちづくり計画の策定

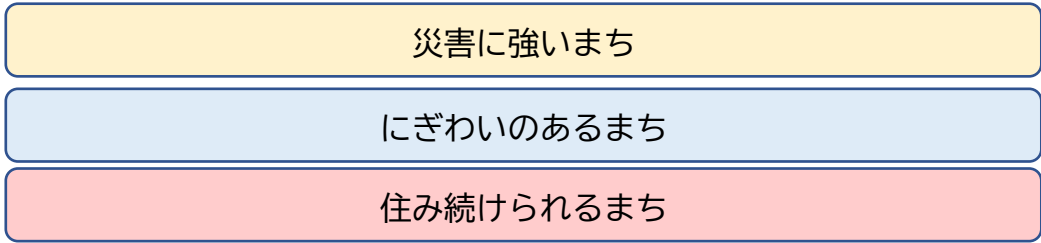
②土地区画整理事業の推進

③住民の防災意識向上

URから市に職員を派遣して支援

4 糸魚川市の復興まちづくり ①復興まちづくり計画の策定

○ 3つの方針ごとに、重点的かつ優先的に取り組むべき施策を重点プロジェクトとして位置付け



■代表的な施策

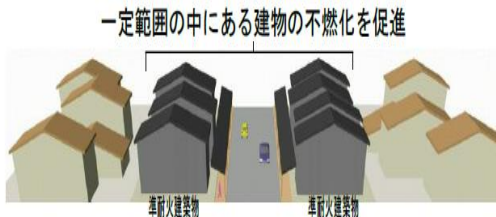
①大火に負けない消防力の強化

- ・大型防火水槽の設置



②大火を防ぐまちづくり

- ・建築物の不燃化



③糸魚川らしいまちなみ再生

- ・伝統的建築物の再建



④にぎわいのあるまちづくり

- ・にぎわい創出広場の整備



⑤暮らしを支えるまちづくり

- ・公営住宅の整備



⑥大火の記憶を次世代につなぐ

- ・こども消防団の設置

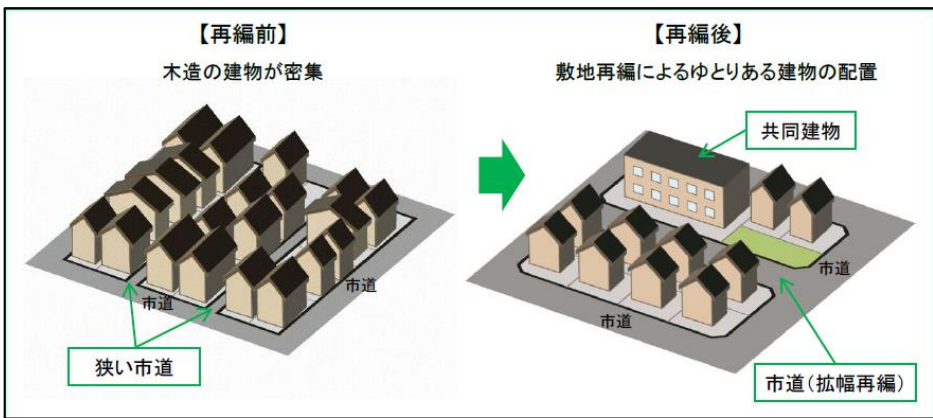


4 糸魚川市の復興まちづくり ②土地区画整理事業の推進

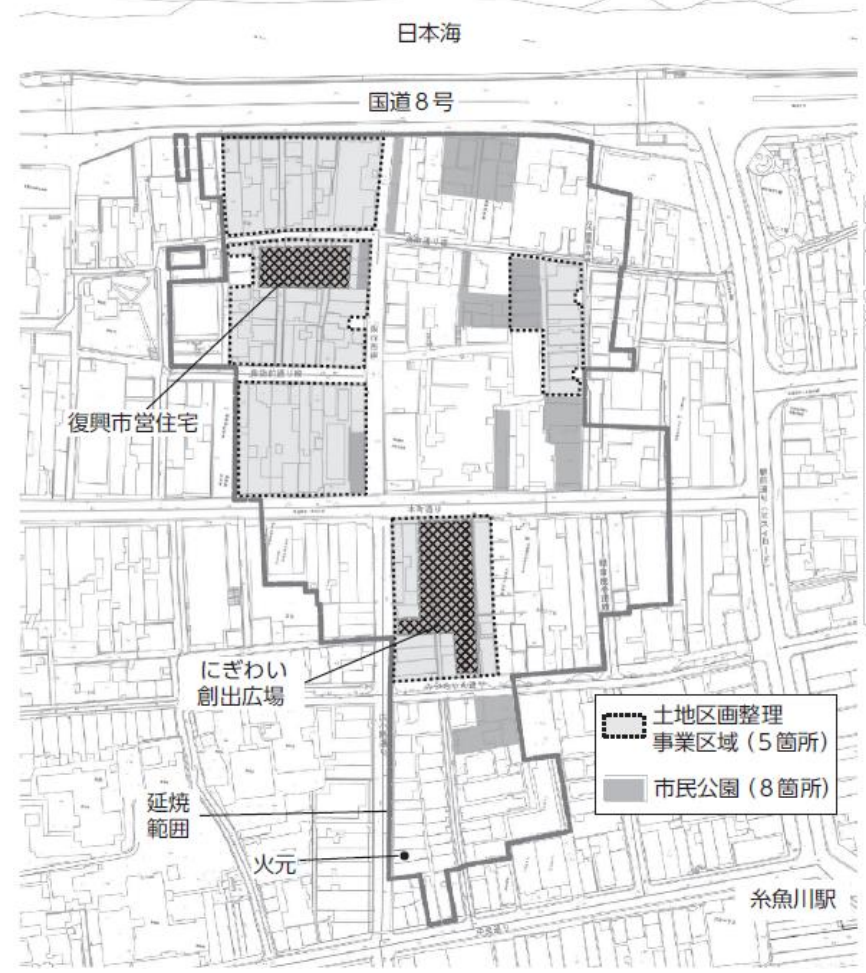
- 土地を再編し、道路の拡幅や市民公園を整備
- 早期再建を図るため、新しくまちをつくり直すのではなく、範囲を限定して部分的に修復し事業期間を短縮

事業の目的

- ・敷地形状や接道状況の改善
- ・道路の拡幅
- ・市有地の集約



市民公園



出典：「新都市」2019年10月号

4 糸魚川市の復興まちづくり ③住民の防災意識向上

防災ワークショップを実施し、モデル地区において、防火水槽の設置や定期的な消防訓練等を実施



防災ワークショップ



こども達による見回り



避難訓練

5 復興支援からまちづくり支援へ

- 糸魚川市では、従来から人口構造の変化に対応したまちづくりが課題
- 復興支援の完了後、URは新たに糸魚川市のコンパクトシティ形成に向けたまちづくりを支援

2021年8月

「糸魚川市コンパクトシティの推進に向けた協定」締結

- ①復興まちづくり計画における賑わい拠点施設（子育て支援施設）の整備に関すること
- ②立地適正化計画の推進に関すること
- ③公共施設等の利活用等に関すること



<その他の支援>

UR団地における各種イベントで、糸魚川市の物産を紹介・販売

